

いちょうだより



保土ヶ谷支援学校 学校便り 第38号 令和6年 6月19日 発行

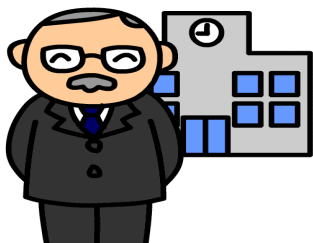
『保土ヶ谷支援学校での学び』

校長 福田 裕志

学校の周りにある木々の緑が鮮やかに映る季節になりました。初夏の日差しが感じられる頃になると、本校の農園では、毎年、夜に蛍が飛び交います。今年も幻想的な光景を見られるのが楽しみです。



さて、この4月に89名の新入生を迎え、全校児童生徒数は315名となりました。多くの児童生徒が通う県内有数の大規模な特別支援学校になっています。そして、学校ではこの児童生徒の一人一人が自立と社会参加の基礎となる力を身につけられるよう教育を行っています。仲間との協働的な学びと個別の実態に応じた学びの中で、自信をもってできることを増やしていけるようにしていますが、そのためには児童生徒が自分の強みをいかし、新しいことにもチャレンジできるようにする必要があります。保土ヶ谷の子どもたちが校歌の歌詞にある「大きな希望、輝く未来」を目指し、力いっぱい頑張れるように教育活動の充実を図っていきます。



また、世界では平和な生活が脅かされ、痛ましい出来事が起きています。どんなときでも人と人が支え合い、助け合うことが大切です。学校での生活を通し、児童生徒が自分を大切にするとともに、周りの人を思いやることができる強く、やさしい心を持った人に育ててほしいと願っています。

『のびのび育て保土ヶ谷っ子』

副校長 坂梨 尚美

この4月に金沢支援学校から異動してきました坂梨 尚美（さかなし なおみ）です。

県立特別支援学校の教員として30年以上になりますが、保土ヶ谷支援学校は勤務するのも訪れるのも初めての学校です。

保土ヶ谷支援の第一印象は「自然豊かな学校」です。校舎の周りにはたくさんの緑に包まれ、シンボルツリーの大きなイチヨウの木が子どもたちを見守っています。畑の奥には湧き水もあり、夏には蛍が飛び交うそうです。（なかなかお目にかかれないようですが…）また、敷地が広いのも保土ヶ谷の魅力のひとつです。特にグラウンドは、これまで勤務したどの学校よりも広く、思いっきり体を動かすことができます。そして、すぐ隣に高校と小学校があるのもいいですね。共に生きる共生社会の実現を目指し、さまざまな形で交流を重ねていきたいと思っています。

最寄駅から離れていたり、登下校時は急な坂を上り下りしたりと不便な面もありますが、毎日繰り返すことで、バスに乗れるようになったり体力がついたりして子どもたちは成長していきます。

ちょっぴり不便だけれど、広々とした空間と自然がいっぱいの保土ヶ谷で児童生徒一人ひとりがいろいろなことを経験し、できることを増やし、少しずつ成りたい自分に近づけるよう応援していきます。

『役割の変化を柔軟に受け止める』

教頭 小倉 裕之

新任教頭で着任して3年目を迎えました。3年目になる今の役割を受け止めて安心安全で個別最適な学びができる環境を設定します。保護者の皆様・地域の方のご理解とご協力をお願いします。

年度が替わり誰もが進級して役割が変わりました。役割が変化するとき、自ら変化を受け止めようとする努力と事前に準備しておけることがあります。役割の変化を柔軟に受け止めるための準備は、「事前の情報収集」です。学校運営協議会では昨年度から進路支援を重点課題として取り組んでいます。本校に在学している方はもちろんのこと、近隣の支援級の担任や保護者の方々にも変化を受け止めるための情報収集の場を創出しようと考えています。校内外を問わず地域全体として支援力向上を目指し、本校のセンター的機能を発揮していきます。詳細な内容が決まり次第ホームページ等でお知らせします。4月のよそよそしい雰囲気はなくなり、みなさん変化を受け止め学校生活を楽しんでいる場面をよく目にします。



『伝える』と『伝わる』

教頭 杉山 美奈子

4月に神奈川県立総合教育センターから着任した、教頭の杉山美奈子（すぎやまみなこ）です。久しぶりに学校に戻り、新任の教頭として様々な初めてのことに緊張の毎日でしたが、子ども達の元気な姿や声にいつも元気づけられています。

学校で子ども達は、授業や活動に取り組む中で、沢山の学びや経験をしています。その中で、活動内容等をどのように「伝え」、「伝わる」かについて、先生方は日々工夫して子ども達に関わっています。

「伝えた」ことが、時には相手に分かりづらいこともあるため、「伝わる」ことがとても大切です。「伝わる」からこそ、活動内容が分かったときの喜びや、気持ちが伝わる喜びになります。学校での子ども達の様子を見ていると、「伝わる」ことの大切さは、子どもも大人も同じだなと改めて思います。「伝え」「伝わる」というコミュニケーションを、一人ひとりの子ども達への関わりや、学校からの様々な情報発信等でも、丁寧に取り組んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

《保土ヶ谷支援学校の2024》



保土ヶ谷支援学校では、学習の取り組みの一つとして、農園芸（畑の作業）があります。各学部、学年等で野菜などの苗を植えています。水やりや観察を行い、「生長の喜び」や「いのちの大切さ」、「収穫の楽しさ」などを学んでいます。日々、継続して栽培していくことは根気のいることです。

本校の児童、生徒たちのたくましい成長も楽しみなことです。

《ホームページもご覧ください！》

学校ホームページでは、日々の学習活動を紹介した「ほどようアルバム」や毎月の行事予定、給食献立表等、様々な情報を発信しております。ぜひ、遊びに来てください。

URL : <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hodogaya-sh/>

